



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 13

発行 令和2年6月26日
発行責任者 校長 菅野 靖



教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富み、社会の変化に対応できる知性豊かな生徒の育成

目指す生徒像

主体的に学び、確かな学力を身につける生徒〔知〕
広い視野をもち、思いやりのある生徒〔徳〕
心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒〔体〕

昼休みの時間、合唱練習始まりました



新型コロナウイルスの感染症の教育活動への影響が、中体連以外の文化的な活動にも出ております。

例年であれば、8月の下旬に行われます東西しらかわ音楽祭の合唱の部と9月中旬に行われます合奏の部が「新しい生活様式」に示されている感染症対策を十分に行うことが困難との理由で、中止になってしまいました。上位大会の県大会や全国大会も中止となり、合唱王国（全国大会に出場した福島県代表の中学校は、何度となく金賞（全国1位）を受賞しています）である福島県の中学校としても、とても残念です。

五箇中学校は少人数でも、全校生で合唱に取組み、昨年までは東西しらかわ音楽祭のステージで素晴らしいハーモニーを奏でてきました。しかし、今年度は、合唱祭がなくなったことにより、生徒のモチベーションも下がるかと思われましたが、結城祭（校内文化祭）での発表に向け、熱の入った練習を開始しました。

全校生で歌い上げる曲は「In Terra Pax」です。「Terra」はラテン語で「地球」で、「Pax」は「平和」を意味しています。よって「In Terra Pax」は、「地に平和を」となります。合唱は、ソプラノパート、アルトパート、そして、男性パートの混声3部合唱になります。

先週から、結城祭での発表用に向けて、昼休みにパート毎の練習を開始しました。ソプラノは穂積先生の指導のもと、アルトは高久先生、そして、男性パートは藤田先生の指導のもと熱のこもった練習をしています。31人での心のこもったハーモニーを奏でて、聴いている人に感動を与え、そして、歌っている自分たちの心も振るわせるような合唱になる事を期待しています。



【ソプラノパートの練習風景】



【アルトパートの練習風景】



【男性パートの練習風景】

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策で、3密（密閉、密接、密集）を避けて、マスクをかけた練習ですが、五箇中学生は、昼休みも頑張っています。

『基礎学力向上プラン』週末課題確認テスト（英語：20点満点）の結果

■1年生：19.2点

■2年生：19.3点

■3年生：19.3点



全学年がテストの平均が9割を超えていて、テストを受けた全員が合格しました。基礎学力がしっかり身につけている証です。ここが、五箇中生の素晴らしいところです。次は、この身につけた基礎、基本をいろいろな状況や課題を解決するときに、使えそうな知識として選択して活用し、身につけた術を使って対応していくことが大切です。対応させた知識や術がうまくかみ合わなければ、少し角度を変えたり、違う知識や術を当てはめてみたりしていろいろ試してみましょう。このくり返して取り組む試みが、思考する力や判断する力、そして表現する力を育てていきます。1年後、2年後、3年後に自分の能力を大きく開花させるためにも、生きてはたらく知識や技能を身につける努力を怠らない五箇中生であって欲しいです。